

よりよい大気をめざして
自動車と燃料のさらなる挑戦

JCAPの今後の活動について

2002.2.22

財団法人石油産業活性化センター (JPEC)

JCAP推進室

JCAPの成果と課題

成果；

- 業界間の理解の促進
- データのオープンな場への提供
- 世界的レベルの大気モデルの構築
- **政策提言に寄与 (中環審等への情報提供)**

} ➤ 成果報告会で発表

実施上の課題；

- 技術情報の秘匿性と技術的解析の難しさ
- 中環審での審議と研究進捗のギャップ

次期JCAPへの反映；

- JCAP成果の継承
- CO2も検討対象に追加
- 情報収集の強化
- 運営の効率化 (技術評価と研究の分離・重点化)

行政への情報提供

環境省自動車排出ガス専門委員会ヒアリング

平成10年9月7日

『STEP の中間まとめ』& 『STEP の計画概要』について報告

平成11年10月4日

『STEP のまとめ』& 『STEP の進捗状況』について報告

平成13年9月6日

新長期対応技術の評価結果、それらの大気質改善効果及び今後の課題』について報告

ディーゼル車対策技術評価検討会 (事務局 環境庁、通商産業省、運輸省)

平成12年6月27日 ディーゼル既販車対策技術評価結果

平成12年7月17日 ディーゼル既販車対策の大気質への影響評価

総合エネ調 石油製品品質小委員会 (事務局 経済産業省)

平成14年2月1日 ガソリン車の排出ガス対策技術について報告

JCAPの成果と課題

成果；

- 業界間の理解の促進
- データのオープンな場への提供
- 世界的レベルの大気モデルの構築
- 政策提言に寄与 (中環審等への情報提供)

➡ 成果報告会で発表

実施上の課題；

- 技術情報の秘匿性と技術的解析の難しさ
- 中環審での審議と研究進捗のギャップ

次期JCAPへの反映；

- JCAP成果の継承
- CO2も検討対象に追加
- 情報収集の強化
- 運営の効率化 (技術評価と研究の分離・重点化)

次期 JCAPへの反映

(行政に対する役割)

環境政策・エネルギー政策に資するデータの提供

環境政策 = エネルギー政策

石油需給・品質の見通し

自動車排ガス低減等の
大気改善効果の予測

将来自動車の方向性と
それに必要な燃料品質の見極め

政策評価が可能な
高精度大気モデル研究
とデータベース構築

リアルワールドの
将来排出量推計

ゼロエミッションを目指した
自動車技術と燃料技術の
研究 (CO2対策との両立)

次期 JCAPへの反映(成果の継承)

JCAP (H9~H13) 成果

(新長期対応)

自動車技術に対する燃料品質の影響が明確になった。
軽油の硫黄分 50ppmの必要性について共通認識が得られた。
大気に対する車の影響評価が可能となった。
(世界的レベルの大気モデルの開発)



次期 JCAPの狙い ゼロエミッション及び燃費向上を目指した自動車技術
に必要な燃料技術を明らかにし、低公害化のポテンシャル
を見極める。

自動車業界 :石油業界の協力を得て、排ガス規制、燃費規制への提言を
行う

石油業界 :自動車業界の協力を得て、燃料油の品質向上と安定供給の
確保につなげる。

国 :施策検討のための技術情報の入手

次期JCAP(JCAP)の概要

- 1.目的 ゼロエミッション及び燃費向上を目指した自動車技術に必要な燃料技術を明らかにし、低公害化のポテンシャルを見極める。
- 2.予算 56億円 (5年間)内補助金 44億円
- 3.期間 平成14～18年度
- 4.体制 JPEC:事業の統括 / 大気モデル開発 / 研究の実施
石連・自工会:資金負担
自動車会社:技術の提供 / 一部研究の分担
石油会社:技術の提供 / 一部研究の分担

JCAP 計画概要

自動車・燃料技術研究

- ゼロエミッションをめざした最先端ガソリン車/ディーゼル車技術と燃料/オイル性状の評価
- 排気ガスとCO₂低減ポテンシャルの評価
- 微小粒子計測法の調査と最新計測法で最先端技術の評価

大気モデル研究

- リアルワールド排出量推計モデルの構築
- 広域大気質モデルと沿道大気モデルの統合モデルの構築
- 統合大気モデルの評価とケーススタディ

JCAP 評価計画

